



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「柳沢文人兄」

この十一月三十日の土曜日、朝七時過ぎ、ホスピスケアーの下にあった敬愛する柳沢文人兄が天に凱旋していった。享年五十九歳であった。C型肝炎による肝臓機能の低下が死因であり、更にリンパ癌、脾臓肥大、白血病と併発し、学生時代にラグビーで鳴らした屈強な体格も、ついに病には勝ことはできなかった。子も居ずに一人この地に残された伴侶の絵美姉が痛々しいばかりである。

柳沢兄が洗礼を受けたのは今から八年前の二〇〇五年である。絵美姉と一緒に受けている。ある日、彼が信仰に入るきっかけとなった聖書のみ言葉は何かと聞いたことがある。やおら「マカリオイです」ときた。以前「キリストの幕屋」に通っていたこともあり、聖書の学びをしていたようで、いきなりギリシヤ語でくるのだからびっくりした。一体この人はどんな学者かと思つたものだ。それはマタイ福音書五章の山上の垂訓の冒頭の言葉で「幸いなるかな」という意味である。それ以来、彼は聖書の学びに熱心で、役員の期間中の一年間、毎週月曜夜に牧師館で絵美姉と一緒に聖書の特訓を受けたのだった。その彼がこの夏にキモセラピーを受けた頃から、次第に体が弱りはじめ、教会に集うことも難しくなっていた。でも、祈禱会やシニア集会には九月頃までは集っていた。最後に彼がシニア集会で証しをした時もやはり「マカリオイ」の「幸いなるかな、心の貧しき者。天国はその人のものなり」(5節)であった。彼の心にいつも去来していたみ言葉であったのだろう。心貧しいとは、神に喜ばれる何もものも持っていない小さな自分に頼るのではなくて、愛なる神に信頼してゆく時に、神がその人を通して、そこを天国に変えてゆく、という意味である。

彼の死の十日ほど前、僕が彼に「絵美さんに何か残す言葉はありますか」と尋ねたときだった。彼は「続けて信仰を深めて生きて欲しい」とためらわずに言った。妻をひとりを残してゆくのは、絶えられない痛みであったろう。だからこそ先に天に帰る者としての願いは、妻に信仰という生きる希望をもって生きて欲しいかったのだ。それが天国での再会を約束する確信だったからだ。

柳沢兄は快活で、彼のいる所はどこでも笑いをはじけるような人柄であった。笑顔が素晴らしく賛美が大好きだった。絵美姉によると、死の間際にも賛美をしていたという。今は先に天に帰った信仰の先達者たちに迎えられ、共に愛の主心からの賛美と礼拝を捧げていることであろう。同時に絵美姉はじめ地上にいる者たちのために、信仰を深めて生きるように執り成しているに違いない。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信條を、私達の信仰告白と致します。

